

## ここがロドスだ、ここで跳べ！

3年生155名の代表に「第3学年修了証」を手渡しました。修了証の「しゅう」という字は「終わる」という字ではありません。修学旅行の「修」です。この字は「おさめる」と読み、「身に付ける」という意味があります。ですから修了式とは、この1年間を通じて学習面でも生活面でも様々なことを身に付け、「私たちの成長した姿を見てください」という式なのだと考えています。皆さんはこの1年間で成長することができたでしょうか。学年主任の倉林先生に3年生の成長した点をお聞きしました。倉林先生は「まわりの人に流されず、自分にとって何が必要かを考えて行動できるようになってきた。」とお話になりました。それはとても大事なことです。今後のさらなる成長も期待してまいります。

修了式にあたり、1つのイソップ寓話を紹介します。

ある男が、村人たちにこんな自慢話をしました。「自分は、ロドス島で行われたジャンプの大会で一番になった。その時、みんながロドス島にいたら、どのくらい自分のジャンプがすごいのかを見せられたのに。」すると、ある村人がこう言い返しました。「ロドス島まで行かなくてもいい。今すぐここで君がやってくれたら、どれくらい君のジャンプがすごいのか分かるじゃないか。ここがロドス島だ。さあ跳んでごらんよ。」もともと嘘をついていた男は、慌てて逃げていった、というお話です。

このイソップ寓話は、口で何を言っても、行動できなければ何の意味もないこと、そして、その時々に関心がある場所でベストを尽くすことが大切であると教えてくれます。

皆さんは、三尻中学校の3年間で、それぞれが自分なりの成長、先ほどのイソップ寓話になぞらえれば、ジャンプをすることができていました。時には仲間と手に手を取り合って精一杯跳ぶことができていたと思うのです。4月から皆さんが生活していく場所でも、精一杯の力で跳んで欲しいと願っています。新しい世界に飛び出すと、環境の違いに戸惑ったり、周りの人が自分よりも優れて見えたりするものです。そうすると「前の方が良かった」「ここは自分の居場所ではない」と思ってしまうことがあるかもしれません。でも、そこで踏ん張って欲しい。前を向いて欲しい。4月から皆さんが生活していく場所こそがロドスです。精一杯の力で跳び上がって下さい。AKB48の9年前の曲「ここがロドスだ、ここで跳べ！」の歌詞を紹介します。

後ろを振り返るなよ／努力したとか頑張ったとか口にするな／今の自分見せてみろ／  
ここがロドスだ さあここで跳べ／前を向いて さあここで跳べ！！

明日は卒業式です。未来への新たな一步を踏み出す日になります。しっかりとした心構えをもって明日の式に臨んでください。以上、令和5年度第3学年修了式の式辞とします。